

◆ INDEX

- 産科婦人科の新診療科体制
- 滋賀治験ネットワークの取組
- 病院敷地内全面禁煙のお知らせ
- 抗がん剤感受性試験の紹介
- 公開講座のお知らせ
- 再来窓口お呼び出し方法変更
- 看護職員募集の案内

## 【母子診療科(産科)、女性診療科(婦人科)の新設について】



産科学婦人科学講座 教授 野田 洋一



平成18年10月1日よりこれまでの産婦人科を2つの診療科に分離し、母子診療科（産科）、ならびに女性診療科（婦人科）として診療を開始することになりました。

産婦人科における診療科の分離は、世界的にもその流れが加速しつつあるところですが、医学の進歩に伴って、これまで産婦人科ひとつの診療科単位で理解されていたものが、3つの領域に分かれようとしています。それらは妊娠・分娩を取り扱う母子診療科、婦人生殖器悪性腫瘍を取り扱う女性骨盤外科、さらに不妊を取り扱う生殖内分泌診療科などです。国内外の医療機関では既に複数の診療科への分離が進められています。このように分化することによって社会が求めるより高い水準の医療を提供できるようになるとともに、より安全な医療も提供できるようになると考えています。

昨今の産婦人科診療を取り巻く環境は厳しく、一般社会の人々の産婦人科医療に対する高い安全性の要求がある一方、この期待に的確に応えられていない産婦人科医療提供体制の問題があります。このような現状を踏まえて、今回滋賀医科大学附属病院産婦人科でも2つの診療科として運営することになったわけです。



### 母子診療科 (Dept of maternal fetal medicine)



滋賀医科大学産科オープンシステムの運営に直接かかわる診療科で、妊娠・出産にかかわる症例を取り扱います。県内各地から重症例が紹介されてきており、日々その対応をしています。診療科長野田洋一を始め喜多伸幸、四方寛子、望月昭彦、山本依志子、松下かおり、井田憲司（非常勤）、石河顕子（非常勤）の医師たちが対応します。

### 女性診療科 (Dept of female pelvic surgery and reproductive medicine)



これまでの婦人科に当たる領域で、不妊・更年期・良性および悪性腫瘍など取り扱う領域は極めて幅広く設定されています。診療科長高橋健太郎を始め木村文則、藤原睦子、中川哲也、樽本祥子、清水良彦（非常勤）の医師たちが対応いたします。

当面は2つの診療科の一体運営をいたしますが、順次専門性が発揮されて新病棟が完成するころには完全な新しい診療体制が出来上がり、さらに社会の期待に応えることができるようになると考えております。皆様よろしくお願いたします。

# 新しい薬の開発に向け、 滋賀治験ネットワークが動きます

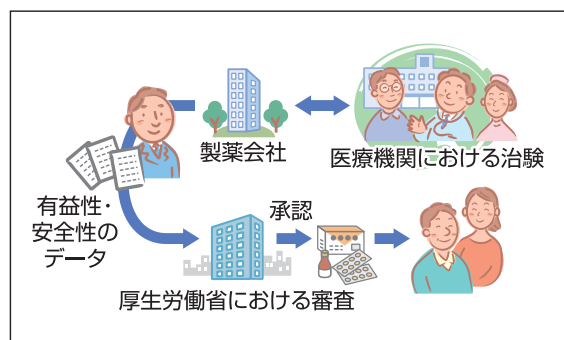
治験管理センター長 中川 雅生

新しい薬はどのようにして開発されるのでしょうか？

薬の候補は、動物で繰り返し安全性が確認されたのち、健康なボランティアの男性の協力によって初めて人での安全性が試されることとなります。人での安全性に問題がなければ、今度は病気の患者さまに使って頂いて本当に効くのかどうかを確認しないといけません。このためには、患者さまの安全を守り、かつ効くかどうかの判定を科学的に正しく行う必要があります。健康な成人男性に始まり、次に患者さまに使って頂いて、薬の候補が安全でしかも効き目があることを確認するための一連の試験を治験と呼んでいます。現在、病院や医院で出される薬や薬局でお求めの薬は、患者さまの協力で得られた治験のデータをもとに厚生労働大臣が薬として認め、世の中に出てきたものなのです。

しかし、日本国内では治験を実施する医療機関や治験に参加される患者さまが少なく、治験に長い時間と費用がかかるため、製薬会社は外国で治験を依頼するようになりました。この結果、国内では新しい薬の開発が進まず、医師が患者さまに新しい薬を使いたくても使えない状況が生じています。そこで厚生労働省と文部科学省は、患者さまに治験をよく知ってもらい、治験に参加して頂く機会を増やすことで治験の活性化を図るため、地域の医院や病院を結んでグループを形成し治験を行うことを進めてきました。これが治験ネットワークです。

全国ですでに20以上の治験ネットワークがありますが、この秋から滋賀県においても滋賀治験ネットワークが動き始めます。現在、約20の病院や医院が登録されており、これまでより患者さまに治験に参加していただく機会が増えることになりました。治験に参加されることで薬の開発が進むと同時に、患者さまには新しい薬を使っていただく機会になります。詳しいことは滋賀医科大学医学部附属病院治験管理センターまでお問い合わせください。ご協力をお願いいたします。

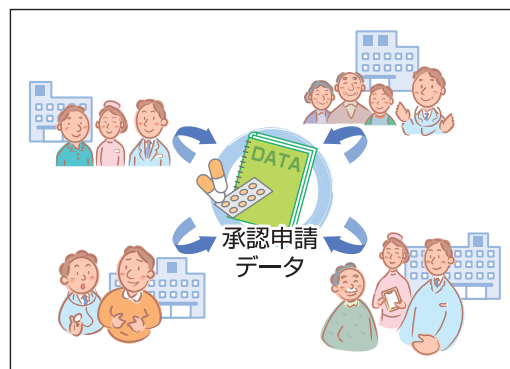


新薬が治療に使用されるまで

お問合せ先

滋賀医科大学 医学部附属病院 治験管理センター  
TEL/FAX : 077-548-2477 (2388)  
E-mail : hqchiken@belle.shiga-med.ac.jp

## 滋賀治験ネットワーク



# 病院敷地内の全面禁煙のお知らせ

## 医療サービス課患者サービス係

本院では、喫煙者及び非喫煙者の健康を守るべく、また、全ての患者さまに最適の療養環境を提供するため、平成18年12月1日から附属病院の敷地内を全面禁煙（駐車場及び車内も含む。）といたしますのでお知らせいたします。

病院には、呼吸器疾患、心疾患やアレルギー疾患等のタバコの被害（影響）を強く受ける患者さまが数多く来院（在院）されています。また、受動喫煙による二次被害が大きいとされていることは周知のとおりで、施設の管理者に受動喫煙を防止するために必要な措置を講ずることを求めている健康増進法25条が制定され、平成15年5月1日から施行されました。本院ではこのことに伴い、平成15年9月1日より附属病院建物内の全面禁煙を実施しました。

しかしながら、喫煙に関する社会的環境は大きく変化しており、医療機関である本院は、非喫煙者の方々の健康を守るべく附属病院敷地内の全面禁煙を実施する必要がありますので、この主旨をご理解いただきご協力くださいますようお願いいたします。

平成18年12月から 病院敷地内



全面禁煙

# 抗がん剤感受性試験導入による オーダーメイド治療

化学療法部 講師（学内） 目片 英治

当院の化学療法に関する取り組みを紹介させていただきます。

平成17年11月14日、かねてから厚生労働省に申請しておりました抗がん剤感受性試験（CD-DST法）が高度先進医療と認められました。対象疾患は消化器がん、乳がん、転移性肝がん、転移性肺がん、がん性胸腹膜炎であります。

化学療法には、がんの再発を予防することを目的とした場合と、進行・再発がんに対して治療することを目的とした場合があります。いずれの場合も、まずは各疾患のガイドラインに示された標準治療を行うのが通常であります。しかし、治療の現場では標準治療を行っても、十分な治療効果が得られないことがあります。そしてがん腫によっては、標準治療そのものが存在しない場合もあります。

このような状況の中で、より高い治療効果が得られるように、抗がん剤感受性試験を導入致しました。これは、個々の患者さまにあった抗がん剤を選択し投与するものであります。オーダーメイド治療ともいいます。手術で切除した腫瘍組織を酵素処理後、細胞塊の状態で培養を行い、各種抗がん剤の有効性を評価し、有効な薬剤を選択し、がん治療に用いています。これまでに、感受性に基づいた治療を行い得た群では、それ以外の群に比べて成績が向上するということが分かってきました。

そして実際の治療は、患者さまの治療にかかる時間をできるだけ短縮できるように、外来治療とし、化学療法部で行っています。ここでは治療が安全に行われるように、がんの専門スタッフが、患者さまの治療内容を把握し、無菌下に調製した薬剤投与を行っています。また、テレビを備え付けたリクライニングシートを設置し、快適に治療を受けて頂けるよう心がけております。



これからは、私たちの取り組みを周辺の医療機関にアピールさせていただき、より良いがん治療を目指していきたいと考えています。





## 栄養公開講座のお知らせ

平成18年 滋賀医科大学医学部附属病院  
秋期 市民の健康と栄養を考える会

### テーマ 高齢者の栄養を考える

「高齢者の栄養を考える」をテーマに、正しい「食習慣」を身につけていただき、生活習慣病をはじめとする慢性疾患の治療、予防に役立てられるよう、わかりやすく具体的に講演いたします。



日時	平成18年11月11日(土) 13:30~16:00 (受付 12:30~)
会場	滋賀医科大学 臨床講義棟 2階
挨拶	滋賀医科大学医学部附属病院 栄養治療部 部長 柏木 厚典 内分泌代謝内科 教授
講師	滋賀医科大学医学部附属病院 栄養治療部 副部長 佐々木雅也 草津総合病院 栄養科長 管理栄養士 小澤 恵子
申込方法	郵便往復はがき、もしくはFAX、メールにて ①氏名(ふりがな) ②年齢・性別 ③住所 ④電話番号 ⑤職業 ⑥聞きたい内容などをご記入の上、申し込みください。
申込先	〒520-2192 大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学医学部附属病院 栄養治療部 市民講座受付係 FAX : 077-548-2499 メール : hqeiyo@belle.shiga-med.ac.jp
申込締切	11月7日(火)
受講料	無料

## 再来窓口でのお呼び出しについて

医療サービス課 外来係

患者さまのプライバシーへの配慮から、再来窓口での受付方法を、お名前の代わりに**番号を使いお呼び出しをする方式**に変更しました。

現在は、再来窓口にいちゃった患者さまに受付番号票をお取りいただき、その番号で患者さまをお呼びしております。これまでのようにマイクでお名前をお呼びすることなく受付を行えるようにいたしました。最初は戸惑う患者さまもおりましたが、最近はずいぶんスムーズに受付をしていただいております。

また番号でお呼びするため呼び出し時間が短縮され、待ち時間の短縮にも役立っています。

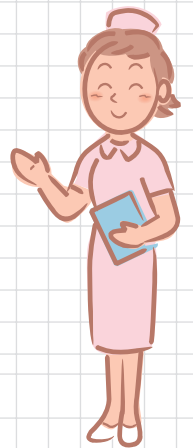


## 看護職員募集案内

滋賀医科大学医学部附属病院では、患者さまへの更なる看護の充実、質の向上のため、看護職員を増員し、平成19年度から看護師配置基準7対1（入院患者さま7人に対して看護師1人の割合：現在は10対1の割合）の実施をめざしています。

このため、現在、看護職員を大募集しています。中途採用看護職員も含めて常時募集中ですので、ご応募、ご紹介をよろしくお願いいたします。

お問合せ先：滋賀医科大学総務課人事係 TEL 077 (548) 2017  
医学部附属病院看護部管理室 TEL 077 (548) 2701



## 滋賀医科大学医学部附属病院 理念

### 「信頼と満足を追求する全人的医療」

滋賀医大病院ニュース第12号 編集・発行：滋賀医科大学広報委員会  
〒520-2192 大津市瀬田月輪町  
TEL: 077(548)2012(企画調整室)  
過去の滋賀医大病院ニュース(PDF版)はホームページでご覧いただけます。

## ●理念を実現するための基本方針

- 患者さま本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します